



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）大塚 信行

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 管理本部長 （氏名）奥津 明洋 TEL 045-474-9000

半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月10日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	21,601	3.8	1,137	26.6	752	0.2	574	25.1
2025年3月期中間期	20,808	6.9	898	5.2	750	△37.8	459	△44.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 96百万円（△94.9％） 2025年3月期中間期 1,883百万円（40.3％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	43.79	43.59
2025年3月期中間期	34.12	33.96

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	49,075	25,669	51.0
2025年3月期	47,008	26,132	54.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 25,017百万円 2025年3月期 25,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	35.00			
2026年3月期（予想）			—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	8.4	2,750	45.7	2,400	36.8	1,800	50.0	137.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、 除外 1社 (社名) 台湾三榮高科技股分有限公司

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	13,700,000株	2025年3月期	13,700,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	575,914株	2025年3月期	532,914株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	13,118,122株	2025年3月期中間期	13,456,703株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託 (J-ESOP)」に係る信託E口が保有する当社株式 (2026年3月期中間期 79,700株、2025年3月期 42,000株) が含まれております。また、信託E口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2026年3月期中間期 50,296株、2025年3月期中間期 42,000株)。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2025年11月10日に機関投資家向けの決算説明会をWEBでのライブ配信にて開催する予定です。なお、当日使用する決算補足説明資料は決算発表後、また、その説明内容については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(収益認識関係の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に米国の関税政策の影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の増加や底堅い企業収益などを背景とした設備投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調が継続しております。一方、先行きについては、物価上昇が個人消費に与える影響が懸念されるほか、米中の貿易摩擦や通商政策、地政学的リスクなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおける当中間連結会計期間の業績につきましては、システム・サービス事業が前年同期実績に及ばなかったものの、半導体設計関連事業が概ね堅調に推移したことや、テストソリューション事業の一部で持ち直しがみられたことなどから、売上高21,601百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益1,137百万円（同26.6%増）、経常利益752百万円（同0.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益574百万円（同25.1%増）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔テストソリューション事業〕

テストソリューション事業は、半導体メモリー市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製品の提供に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発やメモリー以外の周辺ソリューションの拡大に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、国内向けメモリーテスターの需要低迷が継続しているものの、海外向けの新製品販売が大幅に伸長し増収となりました。台湾のSTAr Technologies, Inc. は、信頼性評価装置の納期が一部遅延した影響などにより減収となりましたが、前連結会計年度にプローブカード事業の一部を譲渡したことなどにより販売費及び一般管理費が減少し赤字額は縮小しました。

その結果、当事業の売上高は7,629百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は146百万円（前年同期はセグメント損失410百万円）となりました。

〔半導体設計関連事業〕

半導体設計関連事業は、関連サービスの強化や新規顧客の開拓、既存顧客との関係強化などにより積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。主力商品である半導体設計用（EDA）ソフトウェアについては、既存顧客との長期契約や新規顧客開拓が順調に進捗したことなどにより堅調に推移いたしました。三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、ベトナム子会社におけるAI関連事業の需要が減少したものの、国内における主力顧客の需要が回復したことなどにより前年同期実績を上回りました。株式会社モーデックのシミュレーションモデル製品販売や設計支援サービスは、半導体や自動車関連向けの受注が伸び悩み減収となりました。

その結果、当事業の売上高は6,740百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は314百万円（同9.4%増）となりました。

〔システム・サービス事業〕

システム・サービス事業は、当社グループのエンジニアリング力を活かし、特徴ある製品の開発やサービスの提供に注力するとともに、展示会やWEBを活用し新規顧客の獲得を図るなど積極的な営業活動を行ってまいりました。自社製CPUボードやBOX型コンピューターなどの組込み製品は、主に防衛や社会インフラ向けが伸長し増収となりました。アイティアアクセス株式会社は、決済システムのサービス収入や車載向けソフトウェア関連の受託開発は堅調に推移したものの、代理店事業が伸び悩んだことなどにより減収減益となりました。ガイオ・テクノロジー株式会社の車載向け組込みソフト検証ツール販売及びエンジニアリングサービスは、自動車関連の需要が減速したことに加え、新規受注を見込んだ外注費が一時的に過大となったことなどにより減収減益となりました。株式会社レグラスは、画像処理関連の受託開発が順調に進捗したことやAIカメラシステムの販売も伸長し増収増益となりました。

その結果、当事業の売上高は7,231百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は879百万円（同17.4%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は49,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,066百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産や現金及び預金が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は23,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,530百万円増加いたしました。これは主に、前受金や長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は25,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ463百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は51.0%となり、前連結会計年度末に比べ3.1ポイント減少いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当中間連結会計期間の実績及び最近の業績動向を踏まえ、2026年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2025年11月10日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,532,327	7,156,196
受取手形、売掛金及び契約資産	11,141,796	12,434,141
商品及び製品	6,052,657	6,316,332
仕掛品	1,242,732	1,460,786
原材料	2,059,834	1,871,336
その他	2,682,256	2,939,458
流動資産合計	29,711,605	32,178,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,981,944	9,008,716
減価償却累計額	△5,757,435	△5,890,936
建物及び構築物（純額）	3,224,509	3,117,780
土地	5,872,784	5,872,784
その他	3,877,678	4,041,196
減価償却累計額	△2,381,783	△2,516,116
その他（純額）	1,495,894	1,525,079
有形固定資産合計	10,593,189	10,515,644
無形固定資産		
のれん	638,158	588,115
その他	1,234,427	1,252,580
無形固定資産合計	1,872,586	1,840,695
投資その他の資産		
投資有価証券	2,648,107	2,079,155
その他	2,182,888	2,461,398
投資その他の資産合計	4,830,995	4,540,554
固定資産合計	17,296,771	16,896,895
資産合計	47,008,377	49,075,146

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,197,709	3,717,086
短期借入金	8,366,272	7,813,765
1年内返済予定の長期借入金	400,000	600,000
未払法人税等	426,293	873,978
前受金	4,070,403	5,530,799
賞与引当金	603,939	765,637
役員賞与引当金	—	11,395
製品保証引当金	—	86,430
その他	2,102,409	1,677,032
流動負債合計	19,167,026	21,076,124
固定負債		
長期借入金	850,000	1,450,000
役員退職慰労引当金	94,616	100,359
株式給付引当金	50,498	59,360
退職給付に係る負債	378,410	390,974
その他	335,239	329,302
固定負債合計	1,708,764	2,329,996
負債合計	20,875,791	23,406,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,069,017	4,076,652
利益剰余金	9,497,392	9,609,540
自己株式	△676,186	△737,657
株主資本合計	23,407,383	23,465,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318,450	46,473
繰延ヘッジ損益	△42,460	△7,871
為替換算調整勘定	1,670,951	1,451,875
退職給付に係る調整累計額	68,831	61,423
その他の包括利益累計額合計	2,015,772	1,551,901
新株予約権	21,730	21,730
非支配株主持分	687,698	629,697
純資産合計	26,132,585	25,669,024
負債純資産合計	47,008,377	49,075,146

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	20,808,441	21,601,046
売上原価	14,450,239	15,080,093
売上総利益	6,358,202	6,520,953
販売費及び一般管理費	5,459,348	5,383,168
営業利益	898,854	1,137,785
営業外収益		
不動産賃貸料	247,119	241,701
その他	49,740	70,574
営業外収益合計	296,860	312,276
営業外費用		
不動産賃貸費用	193,644	176,043
為替差損	153,383	316,485
その他	97,727	205,064
営業外費用合計	444,755	697,594
経常利益	750,959	752,467
特別利益		
投資有価証券売却益	—	407,652
その他	579	850
特別利益合計	579	408,502
税金等調整前中間純利益	751,539	1,160,969
法人税等	276,505	605,733
中間純利益	475,033	555,236
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失（△）	15,944	△19,229
親会社株主に帰属する中間純利益	459,089	574,465

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	475,033	555,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,728	△272,063
繰延ヘッジ損益	34,942	34,588
為替換算調整勘定	1,384,830	△213,712
退職給付に係る調整額	△8,283	△7,407
その他の包括利益合計	1,408,761	△458,595
中間包括利益	1,883,794	96,640
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,840,253	110,594
非支配株主に係る中間包括利益	43,541	△13,953

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	751,539	1,160,969
減価償却費	679,499	624,710
のれん償却額	115,440	67,203
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,592	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	208,228	149,918
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△40	86,430
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△19,324	12,283
株式給付引当金の増減額（△は減少）	6,344	9,277
受取利息及び受取配当金	△25,606	△19,730
支払利息	60,248	79,027
為替差損益（△は益）	353,192	△230,336
投資事業組合運用損益（△は益）	26,226	4,587
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△407,652
売上債権の増減額（△は増加）	△635,653	△1,073,648
棚卸資産及び前渡金の増減額（△は増加）	△979,031	△432,834
仕入債務の増減額（△は減少）	183,347	439,741
前受金の増減額（△は減少）	535,717	1,416,077
その他	△639,363	△194,344
小計	619,172	1,691,680
利息及び配当金の受取額	28,233	19,487
利息の支払額	△66,832	△80,423
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△407,863	△430,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	172,710	1,200,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38	△100,043
定期預金の払戻による収入	22,050	12,160
有形固定資産の取得による支出	△263,190	△293,908
無形固定資産の取得による支出	△301,095	△279,622
長期前払費用の取得による支出	△142,352	△42,986
投資有価証券の取得による支出	△1,395,159	△88,130
投資有価証券の売却による収入	—	522,943
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△99,000	—
投資事業組合からの分配による収入	434	1,670
保険積立金の積立による支出	△14,822	△1,658
保険積立金の解約による収入	24,863	22,811
その他	150,894	50,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,017,416	△196,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,226,992	△669,660
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△390,000	△200,000
自己株式の取得による支出	—	△68,010
配当金の支払額	△471,390	△461,110
非支配株主への配当金の支払額	△28,350	△19,650
その他	△4,114	△5,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,120,847	△423,480
現金及び現金同等物に係る換算差額	277,810	△28,839
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,687,742	551,365
現金及び現金同等物の期首残高	8,243,008	6,340,058
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,555,265	6,891,424

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

（連結の範囲の重要な変更）

台湾三榮高科技股份有限公司は清算終了したため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

（セグメント情報等の注記）

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	中間連結 損益計算書 計上額 （注）2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	1,142,239	—	—	1,142,239	—	1,142,239
STAr Technologies	5,910,938	—	—	5,910,938	—	5,910,938
EDA他	—	4,587,786	—	4,587,786	—	4,587,786
三榮ハイテックス	—	1,922,246	—	1,922,246	—	1,922,246
モーデック	—	112,649	—	112,649	—	112,649
組込みシステム他	—	—	1,671,259	1,671,259	—	1,671,259
アイティアアクセス	—	—	2,827,062	2,827,062	—	2,827,062
ガイオ・テクノロジー	—	—	2,413,665	2,413,665	—	2,413,665
レグラス	—	—	220,594	220,594	—	220,594
顧客との契約から生 じる収益	7,053,177	6,622,682	7,132,581	20,808,441	—	20,808,441
外部顧客への売上高	7,053,177	6,622,682	7,132,581	20,808,441	—	20,808,441
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	77	10,739	10,816	△10,816	—
計	7,053,177	6,622,759	7,143,320	20,819,258	△10,816	20,808,441
セグメント利益又は損 失（△）	△410,031	287,363	1,064,562	941,894	△43,039	898,854

（注）1．セグメント利益又は損失（△）の調整額△43,039千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△43,104千円及び棚卸資産の調整額65千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	半導体 設計関連事業	システム・ サービス事業	計		
売上高						
テスター	2,077,503	—	—	2,077,503	—	2,077,503
STAr Technologies	5,551,664	—	—	5,551,664	—	5,551,664
EDA他	—	4,696,834	—	4,696,834	—	4,696,834
三栄ハイテックス	—	1,945,357	—	1,945,357	—	1,945,357
モーデック	—	97,854	—	97,854	—	97,854
組込みシステム他	—	—	1,885,257	1,885,257	—	1,885,257
アイティアアクセス	—	—	2,734,417	2,734,417	—	2,734,417
ガイオ・テクノロジー	—	—	2,378,633	2,378,633	—	2,378,633
レグラス	—	—	233,524	233,524	—	233,524
顧客との契約から生じる収益	7,629,167	6,740,045	7,231,833	21,601,046	—	21,601,046
外部顧客への売上高	7,629,167	6,740,045	7,231,833	21,601,046	—	21,601,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	321	50,719	51,041	△51,041	—
計	7,629,167	6,740,367	7,282,553	21,652,088	△51,041	21,601,046
セグメント利益	146,855	314,406	879,795	1,341,058	△203,272	1,137,785

(注) 1. セグメント利益の調整額△203,272千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△203,022千円及び棚卸資産の調整額△250千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係の注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。

（重要な後発事象の注記）

（自己株式の取得）

当社は2025年11月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

当社グループの資本政策に関する基本方針に基づき、資本効率の向上と株主還元に資する施策として、自己株式の取得を行うものであります。

2. 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

- (1) 取得する株式の種類 : 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数 : 1,400,000株（上限）
- (3) 株式の取得価額の総額 : 2,000,000千円（上限）
- (4) 取得期間 : 2025年11月11日～2026年4月30日
- (5) 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付